

海外で投資する（その２）

前回は主に香港の証券会社を使って、世界の市場にアクセスする方法について説明しました。今回は株式売買の本場であるアメリカでの取引について説明したいと思います。

I 日本の証券会社で買う

日本においてアメリカ株を売買できる証券会社は、楽天証券とイー・トレード証券の２社となっています。ただし当地の証券会社と違って取り扱い銘柄は少なく、前者で約６００銘柄、後者で１０７銘柄となっています（共にニューヨーク証券取引所、ナスダックのみ）。また売買手数料（最低額）もそれぞれ\$ 31.5、\$ 25 となっています。

ただし、両社とも日本語訳のレポートを読むことができます。また、日本株を扱うのと同じように口座維持手数料も無料となっています。

II アメリカの証券会社で買う

アメリカでオンライントレードができる証券会社は、上記のイー・トレード（アメリカ本社）の他、アメリトレード AMERITRADE、チャールズ・シュワブ Charles Schwab Active Trading、メリルリンチ・ダイレクト Merrill Lynch DIRECT、モーガン・スタンレー・オンライン、Morgan Stanley Online、フィデリティドットコム Fidelity.com などがあります。しかしこの内最も開設が手軽だったアメリトレードは、今年 10 月から外国人の新規口座開設を凍結しています。

なおアメリカの証券会社を使う場合、「W 8 – W E N」というアメリカ非居住者登録を行なわなければいけません。この登録を行なえば売却益の源泉徴収が免除（非課税）になりますが、行なわない場合は 31%の源泉徴収がかかってしまいますので注意が必要です。

参考：打倒！金持ち父さん <http://www.best-investor.com/>

Atlantalife.info <http://www.atlantalife.info/money/main.htm>